

令和7年度
冬期講座開催



1月30日、冬期講座1日目が開催され、五所地区の佐久間康幸さんによる剪定会が行われました。佐久間さんは「良い花芽」と「良質リンゴ」にこだわった剪定方法を実演しました。

園主の工藤丈二さんは今年で3年目の佐久間さんによる剪定について「剪定してもらった樹は夏場も作業がしやすい。日当たりも考えられていて良いリンゴができる」と良い枝を見極める力に感心していました。剪定会には45名が参加し、熱心に学んでいました。

1日目



自園地に活かそうと剪定技術を学ぶ参加者

冬期講座2日目は「近年の高温に伴う水稲栽培の対策」・「あい作栽培管理システムについて」・「令和6年度リンゴ栽培を振り返る」・「令和7年リンゴ防除暦説明会」が行われました。

「令和6年産リンゴ栽培を振り返る」では青森県りんご共防連顧問の塩谷彰さんを講師に迎え、2年続きの高温干ばつが生育に及ぼした影響等を説明し、リンゴづくりには結実確保が最も重要と話しました。

「令和7年リンゴ防除暦説明会」では今年の防除暦の主な改正点と防除の注意点が説明され、参加者は集中的に学びました。

2日目



防除暦説明会には座席が足りなくなるほどたくさんの方が参加しました

世界に「1つだけの」...



2月5日、女性部では津軽塗りの研ぎ出し体験を行い、部員や地域女性11名が参加しました。

いとう漆工場の伊藤安子さんを講師に、好きな色のスプーンやフオークを選んで研ぎ、同じ柄はひとつもない、それぞれの柄を研ぎ出していました。参加した部員は削りすぎたりしながら世界に1つだけの1本を作っていました。

作業の前には伊藤さんの「津軽塗クイズ」もあり、会場は和やかな雰囲気でした。津軽塗の始まりは約350年前津軽藩四代藩主津軽信政の頃に始まったと言われていたそう。身近な津軽塗に触れる良い機会になりました。



津軽塗には48工程もあるんですよ！

女性部スマホ教室



2月5日、JA女性部は部員を対象にしたスマホ教室を開催しました。今回の目標「楽しく便利にインターネットを使えるようになる」について「ドコモの方を講師に、基本から教えていただきました。」

知っているけど名前が思い出せないものの検索方法や、音声検索など実際に操作しながら学びました。参加した太田キヌエさんは音声検索の前に「ではいきます」と話してしまい、スマホが「では」について検索をはじめ、周囲を笑わせていました。若い人のように使いこなすには、まだまだ練習が必要なのようです。



音声入力って便利！だけど難しい



田澤さんのわかりやすい実演と解説

2月7日、JA農業振興課は飛馬ふじと葉とらず栽培の剪定セミナーを開催しました。

五所地区の田澤俊明さんが講師を務め、実演・解説しながらの剪定作業を、参加者35人が真剣に見つめていました。こだわり栽培の飛馬ふじと食味重視の葉とらず栽培では、樹に負担をかけないように花を咲かせすぎないことや、葉の数を増やして味を良くすることなど、田澤さんが永年の培ってきた剪定技術を出し惜しみことなく参加者に教えていました。

最強寒波が襲来する中でしたが、参加者はわかりやすい解説にうなずきながら聞き入っていました。

飛馬ふじ剪定セミナー



5年ぶりの開催のため戸惑う場面も

2月12日、JA青年部がろうそくまつりの準備を手伝いました。福田耕正部長ら6名が準備に参加し、鳥居の飾り付けや、雪の階段作り、かがり火のための薪を積み上げたりなど、開会直前まで作業を行っていました。

ろうそくまつり実行委員会の三上雄一事務局長は「青年部の協力がなければ準備が大変だった」と協力に感謝していました。福田耕正部長は「まつり準備は青年部が代々続けてやってきたこと。地域のまつりを守るためにこれからも協力していきたい」と話しました。

まつり準備に
青年部活躍

自分の知識を惜しみなく参加者に教える齋藤克康剪定士

2月13日、相馬村わい化栽培研究会では県りんご剪定士の齋藤克康さん、齋藤寿さん、富士華奈子さんの3名を講師に招き、冬期剪定セミナーを開催し35名が参加しました。

齋藤克康さんの実演では、参加者から「孫枝のあげる基準は」と具体的な質問が出ました。齋藤さんの「自分ならこうする」という回答に参加者全員が耳を傾けていました。女性剪定士の富士華奈子さんの周りには女性生産者8名が集まり、「この枝に何個ならしても良いか」「枝と枝の間隔はどのくらいか」など、質問しやすい雰囲気の中で剪定が進んでいました。

わい化樹の剪定を学ぶ



リンゴ生産の更なる飛躍を目指しましょうと挨拶

2月18日、共防連の幹部研修会がサンパレス秋田屋で行われました。各共防の組合長やJA全農あおもり、農薬メーカーなど44名が出席しました。

三上由紀夫会長は開会挨拶で、昨年に引き続きコンフューザーを設置し、徹底した防除を推進していきましようと呼びかけました。

研修ではJA全農あomorの福島静課長より、リンゴ輸出及び海外市場の状況を聞き、輸出の重要性について理解を深めました。年々使用可能薬剤が減少する中、出席者は適期防除の重要性を学びました。

共防連幹部研修

